ねずみの嫁入（よめい）り　③

楠山正雄（くすやままさお）

こうなると、もうねずみのなかまにはみわたしたところ、とてもむすめのおむこさんにするようなものはありませんでした。ねずみのおとうさんとおかあさんは、「うちのむすめはにほん一のむすめなのだから、なんでもにほん一のおむこさんをもらわなければならない。」といいました。